様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島県医療法人協会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人鹿児島県医療法人協会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	1785 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生便覧の配布 ホームページ掲載 (https://ka-ihokan.com/) (情報公開)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	鹿児島県医療法人協会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人鹿児島県医療法人協会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	<p>学校の円滑な運営を図るために主として次の事項を審議し、決定する役割を担う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学則その他本校の規定の制定改廃に関する事 2、予算及び決算に関する事 3、教育方針、教育計画及び教育内容に関する事 4、学生の募集に関する事 5、学生の単位認定及び卒業の認定に関する事 6、学生の定員に関する事 7、教育施設に関する事 8、その他学校運営に関する事 <p>審議結果を各教員が具体的に教育実践に反映している。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般社団法人鹿児島県医療法人協会会長（1名）	2018. 5. 26 ～ 2020. 5. 30	
一般社団法人鹿児島県医療法人協会理事（10名）	2018. 5. 26 ～ 2020. 5. 30	
一般社団法人鹿児島県医療法人協会監事（2名）	2018. 5. 26 ～ 2020. 5. 30	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島県医療法人協会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人鹿児島県医療法人協会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①保健師助産師看護師学校養成所指定規則・別表3に基づく授業計画 ②教育理念、目的、育成人材像 ③各学年の到達基準と卒業到達目標 ①～③の整合性と卒業到達度を評価し、毎年授業計画を見直し3学年の進度表と授業要項を作成し配布</p> <p>作成過程 授業計画作成ガイドライン等を遵守しつつ、より質が高く効果的な教育ができるよう、学科において検討を重ね、教務会議・学校運営会議等の審議を経て作成している。 シラバスの作成・公表時期 前年度12月頃より取り組みを始め、翌2月の会議審議を経て新年度4月に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>授業要綱の配布 事務室受付に据置・閲覧自由</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>入学前の学修への動機づけ(プレテキスト配布、高校と連携) 入学後履修方法や学修意欲を高めるためのオリエンテーション 少人数担当制による面談・学修指導 全科目必修、各授業科目を履修規定に基づき管理し、単位修得の認定に関わる試験(筆記・実技・レポート)、実習を行い、合格した者に対し、単位認定者が単位修得の認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価は試験・出席状況・実習評価表・記録物を総合して行う。4段階評価とし、優(80点以上)良(70～79点)可(60～69点)不可(59点以下)とし、可以上(60点以上)を合格、不可(59点以下)を不合格としている。 学年末に本人・家族に成績表を発送している。</p> <p>成績評価は履修科目の成績を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、順位付けし、それを把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧・履修規定 ホームページ掲載 (https://ka-ihokan.com/) (情報公開)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 所定の教育課程を修了し、全授業科目 98 単位の認定を受けた者については学校運営会議を経て校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業認定基準</p> <p>単位修得の認定: 所定の授業科目を履修し、その科目の評価で合格した者には、その科目について履修した単位を修得したことを認定する。 卒業認定: 所定の単位修得を認定し教育課程を修了した者について、卒業時到達度評価、学習評価、出席状況を勘案して、学校運営会議の議を経て決定する。</p> <p>卒業生像 (卒業時到達度)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳と人間の尊重が理解できる。 2. 感性を磨き、対象の気持ちを理解し共感的態度で接する事ができる。 3. 人間を身体的、精神的、社会的な側面から統合体として理解できる。 4. 科学的思考をもって看護が実践できる。 5. 対象を取り巻く危険因子が判断でき危険を回避した看護が実践できる。 6. 保健・医療・福祉チームにおける看護職としての役割を理解し、責任を自覚して、チームメンバーと協調できる。 7. 自己の向上を目指し、看護を継続して探究する姿勢を持つ事ができる。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧の配布 ホームページ掲載 (https://ka-ihokan.com/) (情報公開)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鹿児島県医療法人協会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人鹿児島県医療法人協会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室受付に据置・閲覧自由
収支計算書又は損益計算書	事務室受付に据置・閲覧自由
財産目録	事務室受付に据置・閲覧自由
事業報告書	事務室受付に据置・閲覧自由
監事による監査報告（書）	事務室受付に据置・閲覧自由

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3000 単位時間	1845 単位 時間	90 単位時 間	1035 単位 時間		30 単位時 間
	昼		3000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		120 人	0 人	11 人	53 人	64 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）	（概要）		
教育計画	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3"> { 1年次 39 単位 1110H 2年次 37 単位 1080H 3年次 22 単位 810H } </td> <td>に基づき講義・演習・実技・実習を 組み入れカリキュラムを組んでいる</td> </tr> </table>	{ 1年次 39 単位 1110H 2年次 37 単位 1080H 3年次 22 単位 810H }	に基づき講義・演習・実技・実習を 組み入れカリキュラムを組んでいる
{ 1年次 39 単位 1110H 2年次 37 単位 1080H 3年次 22 単位 810H }	に基づき講義・演習・実技・実習を 組み入れカリキュラムを組んでいる		
	成績評価の基準・方法		
	（概要）		
成績評価は試験・出席状況・実習評価表・記録物を総合して行う。4段階評価とし、優（80点以上）良（70～79点）可（60～69点）不可（59点以下）とし、可以上（60点以上）を合格、不可（59点以下）を不合格としている。 学年末に本人・家族に成績表を発送している。			
成績評価は履修科目の成績を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、順位付けし、それを把握している。			

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>単位修得の認定: 所定の授業科目を履修し、その科目の評価で合格した者には、その科目について履修した単位を修得したことを認定する。</p> <p>卒業認定: 所定の単位修得を認定し教育課程を修了した者について、卒業時到達度評価、学習評価、出席状況を勘案して、学校運営会議の議を経て決定する。</p> <p>卒業生像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳と人間の尊重が理解できる。 2. 感性を磨き、対象の気持ちを理解し共感的態度で接することができる。 3. 人間を身体的、精神的、社会的な側面から統合体として理解できる。 4. 科学的思考をもって看護が実践できる。 5. 対象を取り巻く危険因子が判断でき危険を回避した看護が実践できる。 6. 保健・医療・福祉チームにおける看護職としての役割を理解し、責任を自覚して、チームメンバーと協調できる。 7. 自己の向上を目指し、看護を継続して探究する姿勢を持つことができる。
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科に自己学習・課題学習時間をもうけ、学習の仕方を助言 <ul style="list-style-type: none"> ・1年次～3年次まで国家試験対策を計画・実施 ・成績下位者への春ゼミを実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	0人 (%)	39人 (97.5%)	1人 (2.5%)
(主な就職、業界等) 医療系（病院・訪問看護ステーション等）			
(就職指導内容) ・病院説明会実施（毎年4月） ・就職希望調査、ニーズを把握し個別相談、就職試験への支援			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122 人	1 人	0.8%
(中途退学の主な理由) 体調不良 (入学前より続いていた)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学習継続につながる面談・学習指導 ・学生生活の悩みを相談しやすい関係づくり・連携		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	180,000 円	720,000 円	240,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページに掲載 (https://ka-ihokan.com/)
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価の基本方針 主な評価項目 1、教育理念・目的・育成人材像 2、学校運営 3、教育活動 4、教育成果 5、学生支援 6、教育環境 7、学生の募集と受け入れ 8、財務 9、法令等の遵守 10、社会貢献
評価委員会の構成 委員会を構成する委員は5名以上とし、本校職員以外の者で次にあげる者のうちから、

<p>校長が委嘱する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、保護者 2、鹿児島県医療法人協会立看護専門学校卒業生 3、地域住民 4、地元企業関係者 5、高等学校関係者 6、その他教育に関する有識者 <p>評価結果の活用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校関係者評価の結果を踏まえ、自己評価及び今後の改善方策について見直しを年度末（3月下旬）の職員会議・教務会議で行う。 2) 1) を次年度の目標設定や取り組みの改善に反映させる。（4月初め） 3) 改善のための具体的な取り組みを進めるにあたっては鹿児島県医療法人協会理事会、鹿児島県医療法人協会立看護専門学校理事と連携しつつ進める。 4) 教職員は、校長の責任の下、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動、学校運営の質の向上に努めた実践を継続的に行う。 																	
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">所属</th> <th style="width: 30%;">任期</th> <th style="width: 30%;">種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">2020年度から評価を確実に実施するために学校が選任した学校の関係者からなる評価委員の選定を行う</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	2020年度から評価を確実に実施するために学校が選任した学校の関係者からなる評価委員の選定を行う											
所属	任期	種別															
2020年度から評価を確実に実施するために学校が選任した学校の関係者からなる評価委員の選定を行う																	
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>2020年度から評価を確実に実施・公表する</p>																	
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>																	

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>ホームページアドレス https://ka-ihokan.com/</p> <p>学校案内・入試要項・過去問題集（メール・電話にて請求、無料郵送）</p>
--